

豊田市 PCB 処理 安全監視委員会だより

平成 25 年 5 月
第 29 号

豊田市では、日本環境安全事業株式会社が行う豊田 PCB 廃棄物処理事業における安全性の確保及び周辺環境を保全するために、「豊田市 PCB 処理安全監視委員会」を設置し、PCB 廃棄物が安全・確実に運搬・処理されることを監視しています。

委員会の活動内容は、この「委員会だより」や市のホームページなどで公開しています。

●平成 24 年度第 3 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会について

平成 25 年 3 月 6 日午前 10 時から日本環境安全事業株式会社(JESCO)豊田事業所において、平成 24 年度第 3 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会を開催しました。

委員会には委員 13 名、オブザーバーとして愛知県資源循環推進課、豊田市消防本部予防課、豊田労働基準監督署、その他として環境省産業廃棄物課、JESCO、運転管理会社が出席しました。

また、一般傍聴者 2 名が会議を傍聴されました。

【JESCO 改善計画書について】

1 JESCO 改善計画の報告について

今年度発生した 2 件の漏洩事故を受け、市は、これまでの改善対策において、漏洩リスクの観点や作業手順書のチェック体制の必要性に等ついて見逃されているところがないか検証・評価して対策を講じるよう指導票を交付し、改善計画の報告を求めていました。

2 安全監視委員会作業部会の開催状況について

平成 24 年 12 月以降、計 3 回(平成 24 年 12 月、平成 25 年 1 月、2 月)作業部会開催し、今年度発生した 2 件の漏洩事故等への JESCO の対応及び JESCO 改善計画案について確認し、専門的な立場からの助言をいただきました。出された意見については、JESCO 改善計画書へ反映させていくとともに、事故の発生した SD 剤受入作業の安全性向上に役立てていきます。

3 JESCO 改善計画内容について

作業部会で出された意見を反映した改善計画が、JESCO から報告されました。

施設の安全管理については、JESCO に全責任があり、本社・豊田事業所・運転管理会社が一體となり責任を遂行していくことが盛り込まれています。

また、具体的対策として、(1)外部漏洩に結びつくリスクの高い作業の監視徹底、(2)豊田再生計画以降に実施すると約束した各種対策について、環境マネジメントシステムの法的要求事項と同等に扱い確実に実施していく等も報告されました。

【PCB 廃棄物処理施設の状況報告】

【JESCO からの報告事項】

1 PCB 廃棄物の処理状況

JESCO 豊田事業所では、操業開始から、トランス類 1,424 台、コンデンサ類 26,102 台、PCB 量にして約 1,076t を処理しました。

2 周辺環境への影響の状況

平成 24 年度に実施した排出源及び周辺環境モニタリング結果は、いずれも管理目標値、環境基準値等を下回っていました。

【市からの報告事項】

1 PCB廃棄物処理施設への立入実施状況

前回の安全監視委員会後（平成24年11月22日から平成25年3月5日まで）、JESCO 豊田事業所へ計5回の立入検査を行い、漏洩事故に対する改善対策状況の確認や、年始における施設立上げ状況の確認等を行いました。

平成25年1月7日、豊田事業所では、電力会社の計画的な停電に伴い停止させていた施設の再稼働を実施しました。工程表に基づき、現場と中央制御室で連絡を取りながら慎重に作業が行われているのを確認しています。また、再稼働に伴うトラブル等の発生もありませんでした。

2 収集運搬時及びJESCO保管中のPCB廃棄物からの漏洩事例について

前回の安全監視委員会後、収集運搬事業者が収集運搬時に、PCB油が漏れ防止型金属容器内のインナートレイへ漏洩した事例が3件発生しました。また、JESCO内で保管中のコンデンサから、漏洩が発見された事例が7件発生しました。あらかじめ、PCB廃棄物からのにじみ等のトラブルに備え、外部へ漏洩しないよう対策されており、いずれもPCBの外部への漏洩はありません。

3 PCB廃棄物未処理事業者への立入について

市内にあるJESCO処理対象物であるPCB廃棄物の未処理事業者に対し、早期処理を促すとともに、その保管や使用状況等を確認するため立入を実施しました。

早期処理の意思を示した事業者に対しては、JESCOと協力し処理手続きの案内を行うなどして早期処理を促していきます。また、使用中であることや処理費用が工面できない等の理由から早期処理の意思のない事業者に対しては、早急な処理の促進について、今後も粘り強く指導を行っていきます。

【今後のPCB廃棄物の処理推進について】

JESCO処理対象物における、これまでの全国での取組状況や処理状況と今後の処理推進に向けた考え方等について、環境省から報告されました。

【委員からの主な質問】

Q1 他事業所での事故発生状況は。

A1（JESCO）近年事故発生は減少傾向だが、他事業所でも同様の事故は発生している。事故情報や対策状況を共有し、全体の水準を高めていく。

Q2 新たな作業員が入った際に、漏洩リスク等が認識できるようなシステムであるのか。

A2（JESCO）作業手順書には、作業の際の考えられるリスクが示されており、その中に漏洩についても記載している。また、毎年継続的に見直しする。

Q3 安全監視委員会作業部会で、実行した対策結果の記録類を確認する場を設けて欲しい。

A3（市）確実に改善計画を実行しているか、作業部会委員に確認してもらい、その内容を安全監視委員会で報告するような形で検討したい。

Q4 PCB処理が高額であることを理由に未処理である事業者も多い。処理推進のため、国の施策で補助等の検討をお願いしたい。

A3（環境省）現在、中小企業に対しては処理費用の7割補助しているが、それでも処理できないというのは大きな問題だと認識している。

【委員からの主な意見】

- ・現場の作業員の意見を改善計画に反映させること。また、管理職と現場の双方向のコミュニケーションが大事である。
- ・「徹底」は言葉だけではだめ。繰返し確認し、確実に実行すること。
- ・漏洩の未然防止に向けた多くのプロジェクトができた。計画表を作成し、抜けのないようにすること。
- ・作業に対する意識を高く持ってもらえるよう、改善計画を実行しながら進めて欲しい。
- ・今後、JESCO 豊田事業所への全社的なバックアップの具体的な取組状況を報告して欲しい。

等の意見が出されました。

◆ 豊田市 PCB 処理安全監視委員会事務局
豊田市環境部環境保全課
TEL：0565-34-6628
FAX：0565-34-6684
e-mail：k_hozen@city.toyota.aichi.jp